

兵庫大学には、学生の最大の長所である「素直さ」に応える学習環境が整っています。
チューター制度を活かしたきめ細かな指導を徹底し、国家試験合格100%をめざします。

Point 1

チューター制度を活かした少人数での学習！

どうやって勉強したらいいかわからない、やる気スイッチが見つからない、という学生に対応するため、チューター（少人数担任制）によるゼミ形式の指導を行います。まず基本的な問題を使ってテキストの使い方、解らないことの調べ方などからはじめ、少しずつ難しい問題に挑戦します。このような少人数での勉強会では、解らないところを自由に質問できる雰囲気を大事にしています。

Point 2

学内外の講師による対策講座の実施！

学科教員による講義のみならず、外部から講師を招いて対策講座を開催します。いろいろな教育方法や考え方に接する機会を得ることで、一つのテーマについて多面的に理解することができるようになり、自然と学力がついていきます。模擬試験（全6回）により成長を実感することで、モチベーションはさらに上昇していきます。

Point 3

苦しい時を乗り越えるチーム力！

一人では難しい国家試験合格も、みんなで励ましあい、支えあうことで乗り越えることができます。教員も一丸となってサポートします。卒業した先輩たちもやってきてアドバイスをくれます。そして卒業するときに「兵庫大学に来て本当に良かった。生涯の仲間がたくさんできた。」と全員で喜び合える環境を整備していきます。

卒業後も成長していける
基礎能力を養成します！

本学科の学生の最大の長所は「素直さ」だと思います。だからこそ、しっかりした学習環境により大きく学力を伸ばすことが出来ます。今まで解らなかったことが解るようになる。できないと諦めていたことがどんどんできるようになる。こうした当たり前の積み重ねで自然と勉強が楽しくなり、学力が上がっていきます。私たち教員の最大の使命はこの「素直さ」に応え



国試対策委員長
細川 敬三 教授

る適切な学習環境を整えることだと思います。国家試験合格は単なる通過点、そこからさらに成長していける社会人としての土台を形成していきます。



●○お問い合わせ先○●

加古川市平岡町新家 2301 兵庫大学 入学部 入学課

TEL : 079-472-1116 (入学課直通)

E-Mail : info@hyogo-dai.ac.jp

URL : http://juken.hyogo-dai.ac.jp/



兵庫大学ならではの**管理栄養士の国家試験対策**

健康科学部 栄養マネジメント学科



1 年次

なにはともあれ基礎学力。基礎ゼミでは、文章を丁寧に読み、計算を正確にできる力を身につけます。管理栄養士概論では管理栄養士の話をお聞きながら、将来への夢を膨らませましょう。

2 年次

授業などでも国家試験過去問を目にする機会が増えてきます。毎日の授業は国家試験へとつながっています。しっかり頑張っている先輩の話をお聴きの機会を設けています。

3 年次

実習などで、現場で働く管理栄養士のお話を聞く機会も増え、将来像が具体化していきます。国家試験対策がスタート。まずは必要なキーワードをしっかり理解していくところから。

総合演習 II (学習の繰り返し)

事前に重要事項の課題を提示し、この内容の小テストを毎回実施することにより、予習の習慣を身に付けます。小テストについては、答案用紙を返却し、誤っていた箇所を確認し、復習が出来るようにします。

1年生から4年生まで、すべての科目が**管理栄養士国家試験へとつながっています。**



4 年次

スタートダッシュ。早め早めに準備するのが試験合格の鉄則です。就職先も決まりしっかりした目標ができます。模擬試験で実力チェックと弱点克服を！教員を含めた勉強会も利用しましょう。

総合演習 III (学習の繰り返し)

分野のキーワードを学生に理解してもらうために解説し、次回の授業初めに前回の内容に対する小テストを実施します。この流れを繰り返し行い、さらに中間テストを実施します。採点した小テストは返却し、また、教員からのフィードバックを行います。このように小さなステップを多くして学習意欲を高めます。

総合演習 IV

実施した模擬試験などの問題を教材にして重要事項と学生の不得意の箇所を重点的に授業内で展開します。また、毎時間、前回の授業の小テストを実施し、授業の聞きっぱなしを防止します。

本学ならではの国試対策の取り組み

夏期講習

夏季休暇中の国家試験対策として、総合演習定期試験問題の解説を中心に対策を行います。この対策を総合演習再試験に関連させることで、学習意欲の向上を図ります。

予備校講習(11月・2月)

外部講師による国試対策を行います。出題傾向を知るとともに、ポイントを押さえた対策に特化した講習を聞くことで本番に向け、モチベーションの向上を図ります。

模擬試験(年間6回)

国試に慣れるとともに、各自の実力を知る機会となります。国試対策として不足している知識をチェックし、学習不足箇所を認識します。点数が50点以下の学生には模擬試験から一部を抜かし再試験を行います。

勉強会

教員が開催する勉強会や、学生が教員に依頼して行われる勉強会を実施します。個別やグループ対応を行い、理解を深めます。

出遅対策

成績の向上が見えない学生に対し、少人数指導を「出遅れ対策」として実施します。比較的簡単なテキストを用いて、読んで覚えて問題を解いていくという一連の作業を繰り返し、学習に弾みを付けます。

